

2018年1月5日

関係各位

千代田化工建設株式会社
IR・広報・CSR セクション

2018年 年頭メッセージ要約

～ 世の中の変化をしっかり捉えて、飛躍の年にしていこう ～

(実施:1月4日、社長:山東 理二)

今年はどういう1年になるか？

次の3つの視点から考え、皆さんへの期待を述べたい。

まずは世界の政治・経済情勢。

5年ぶりの共産党大会を終えた習近平の中国と、今年3月に大統領選挙はあるがプーチンが圧倒的に強いロシアは比較的安定しようが、11月に議会の中間選挙を控えた米国には要注意である。トランプ大統領が有権者の支持を得るため、ポピュリスト人気取り的な政策を打ち出して来る可能性が高い。北朝鮮や中東へのトランプ政権の対応はその脈絡から読み解くことが必要である。特に中東情勢についてはサウジとイランの緊張関係が更に高まった場合、我々の重要市場であるカタールビジネスへの影響が懸念される。このような世界情勢をしっかり見ながら各プロジェクトに取り組んでいって貰いたい。

次に、エネルギーと環境分野について。

これまでは化石燃料が主体のエネルギーと、低炭素・脱炭素を目指す環境への取り組みというものは対立軸で語られることが多かった。しかしながら太陽光を中心に再生可能エネルギーの発電コストがここ1、2年で急速に下がったことから、これからはエネルギーと環境は対立関係では無く、一体化される関係になって来た。その一例が政府補助金無しの再生可能エネルギーの登場である。要すれば、環境対策だからではなく経済性の観点からも再生可能エネルギーを導入する動きが出て来ているのだ。これは一見、化石燃料由来のエネルギー市場で戦って来た千代田にとっては大きなピンチである。しかし、千代田も今、再生可能エネルギーや蓄電への取り組みを急ピッチで進めている。LNG や石油と言った従来の化石燃料のみならず再生可能由来のエネルギー、更には蓄電システムや水素も取り込むことで、千代田にしか出来ないエネルギー分野での新しい総合的なソリューションを社会に提供していく。これ

こそが真の意味での千代田の社是である「エネルギーと環境の調和」の実現だ。ライフサイエンス分野の拡大を含め、今が大きなチャンスである。この「変化をチャンスに生かす」との気持ちをしっかり持って各々の業務に向き合うことが重要である。

3つ目は AI/IoT である。

今日ここで言いたいのは、AI/ IoT というのは単に先進デジタル技術の進歩を意味するだけでなく、我々のビジネスモデルを変えるものだという認識を持つことである。AI/IoT を駆使することで、我々の EPC 遂行競争力を高めると同時に、設備納入後も、設備の最適稼働提案等をお客様に行うことが可能になる。すなわち、お客様と我々の関係を従来の EPC コントラクターという領域からさらに進化させることが期待出来るのだ。こういった新しいビジネスモデルの開発も目的の一つとして、2018 年度から、Chief Digital Officer (CDO) 制度を導入する。CDO のリーダーシップの下、是非、社員全員で AI/ IoT の強化に取り組んで貰いたい。

以上、3 点述べたが、昨年 8 月に発表した中期経営計画の各種施策も概ね順調に進捗している。

私自身、千代田の反転攻勢に手応えを感じている。これから今年 1 年、世の中の変化をしっかり捉えて、皆で千代田を更に飛躍の年にしたいと思っている。

皆さんの今年 1 年の健康と活躍を期待している。

一緒に頑張っていこう。

以上

この件に関するお問い合わせ先： IR・広報・CSR セクション 塚本 朋之 / 横田 令子
電話: 045-225-7734 FAX: 045-225-4962
URL: <https://www.chiyodacorp.com/jp/contact/>